

ふみびと

言葉探し

ことばの橋が 結ぶもの

「自分の思っていることをできるだけ正確に伝えたい」

先日、久しぶりに以前お世話になった先輩に会った時に彼が話していた言葉。

いつも話すときは言葉を選ぶようにゆっくりと丁寧に話すような印象だったため、すごく言葉を大事にされているのかな、と思い問いかけたところ、

話し方に魅力を感じていたのですが、それもそんな理由があったようです。

自分の思っていることを、できるだけ同じように相手にわかってもらえるように表現するには、

相手に合わせて膨大な数の単語の中からより適切なものを適切な組み合わせで話さないとできないもの。そのため多くの活字の本だけでなく、漫画を読むこともあるそうです。

話していることも苦笑いしていたのですが、より相手にわかりやすいようにと気遣い、糸を紡ぐように丁寧に言葉を繋いでいく彼の話は、まるで少しずつできあがっていく織物を織るのを眺めるように心地の良いものでした。

同じことを話しているも、どんな風に紡ぐかで意味合いも受け取り方も変わる。当たり前のこと

来事がなくとも日々の中にそっと紛れ込んでくるのだ。新しい靴で歩く道、ふと手に取った本。そんな些細な選択にさえ、「これから」の可能性があふれ出る。春だからこそ、少し勇気を出して何かを始めたい。それはきっと、この季節が、変化をやさしく後押ししてくれるからなのだろう。



第367号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単♪下の風船便切手宛に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだ



次回発送日

4月の次回発送日は28日の予定です。送りたいお手紙がある場合は25日までに事務局に到着することを、お近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。

感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂きたいです。方法は事務局宛てのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報保護を伏せた上でご紹介させて頂きます。ご要望等もお気軽にお送りください。



これから

春が訪れると、ほんの少し空気が柔らかくなる。木々の先端には、小さな緑の芽が顔を出し、空の色もどこか澄んで見える。そうした変化を肌で感じるたび、心の中にも静かに灯がともるような、ふんわりとした期待が広がっていく。分厚いコートをしまい、軽やかな服に袖を通す朝は、それだけ

の香りがまじり合い、昨日とは違う世界がそこにあるように感じる。春のワクワク感は、特別な出

後押ししてくれるからなのだろう。